

STIEBEL ELTRON

電気パネルヒーター

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

品 名…… CNS Trend (JP) シリーズ

型 名…… ●CNS 38Trend (JP)

●CNS 50Trend (JP)

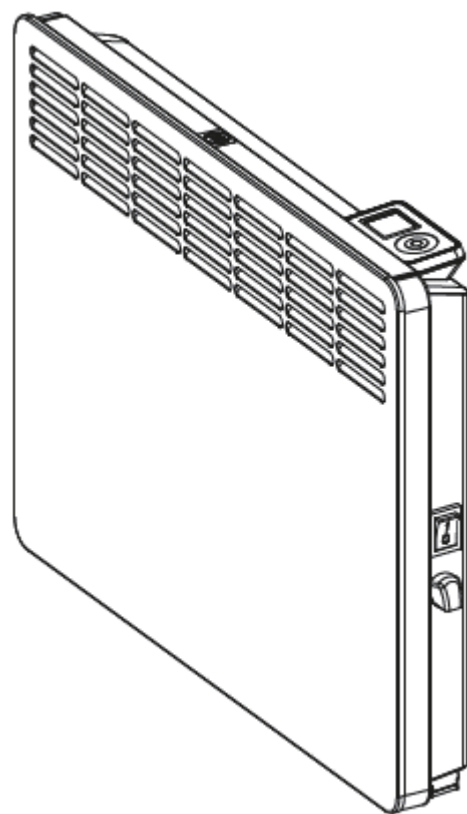
●CNS 75Trend (JP)

●CNS 115Trend (JP)

●CNS 150Trend (JP)

●CNS 200Trend (JP)

●CNS 235Trend (JP)



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP.1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意	1	4. コードの確認と設定変更	13
2. 各部のなまえと機器の特長	3	4-1. コードの確認	13
2-1. 各部のなまえ	3	4-1-1. コード一覧	13
2-1-1. 機器外観	3	4-1-2. 現在室温の確認	13
2-1-2. ボタン／表示一覧	3	4-1-3. 積算暖房時間	14
2-2. 機器の特長とコード表	4	4-2. 設定変更	15
2-2-1. 機器の特長	4	4-2-1. 全曜日共通設定温度プログラム	15
2-2-2. コード表	4	4-2-2. 月一金の共通設定温度プログラム	17
3. 運転のしかた	4	4-2-3. 曜日別の設定温度プログラム	19
3-1. ご使用方法	4	4-2-4. 現在室温のオフセット	21
3-1-1. プレーカの確認	4	4-2-5. 時刻表示の変更	22
3-1-2. 電源スイッチ	5	4-2-6. 温度表示の変更	23
3-1-3. 暖房シーズン開始時の曜日と現在時刻の入力	5	4-2-7. プログラム運転のリセット	24
3-2. 暖房器の操作	6	4-2-8. 積算暖房時間のリセット	25
3-2-1. お部屋を暖める	6	5. 日常の点検とお手入れ	26
3-2-2. お部屋が暖かすぎる	6	6. 故障かな？と思ったら	26
3-2-3. 暖房器を一旦停止する	6	7. 点検および修理について	27
3-2-4. 現在時刻の確認と設定	7	8. 仕様	28
3-2-5. プログラム運転時の通常モードの設定温度変更	8		
3-2-6. 運転時のEcoモードの設定温度変更	9		
3-2-7. ウィンドサーチ機能	10		
3-2-8. プログラム運転の設定	11		
3-2-9. 事前運転の設定	12		
3-2-10. チャイルドロックの設定	13		

取付説明書

1. 安全上のご注意	30
2. 各部のなまえと外形寸法	32
3. 部品の確認	33
4. 機器設置前の準備	33
4-1. 設置場所の確認	33
4-2. 電源配線の確認	33
5. 機器の設置	34
5-1. 機器の固定	34
5-2. 配線の接続	35
6. 試運転の手順	35
保証書	37

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止



絶対に改造はしないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器を運転中、運転後は、機器表面が熱くなっているので触らないでください。
また、お子様が近寄らないようにしてください。



機器の上や機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



機器に直接衣類等を置いて、乾かしたりしないでください。



機器の下方には、じゅうたん等の可燃物を置かないでください。



機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。
(離隔距離は、壁紙や棚、カーテン等の品質を保証する距離ではありません。)



	前面パネル	天面パネル	左面パネル	右面パネル	下面パネル
離隔距離	500mm以上	150mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上

※カーテン等、全ての繊維類は、機器から150mm以上離してください。

！ 指示

- ！ 壁固定金具が正しく取り付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。
- ！ 震災等で万が一転倒した場合は、下記の項目を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
 - ①専用ブレーカを「切」(OFF) にしてください。
 - ②建物が揺れている間や、機器が傾いている間は機器に近づかないでください。
 - ③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。
- ！ お子様や身体に障害がある方が操作する場合は、監督者の管理のもと、または、安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- ⊘ 機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
- ⊘ 機器の周辺で加湿器等の水蒸気を発生させる機器を使用しないでください。
- ⊘ 機器の隙間から、内部に物を入れないでください。

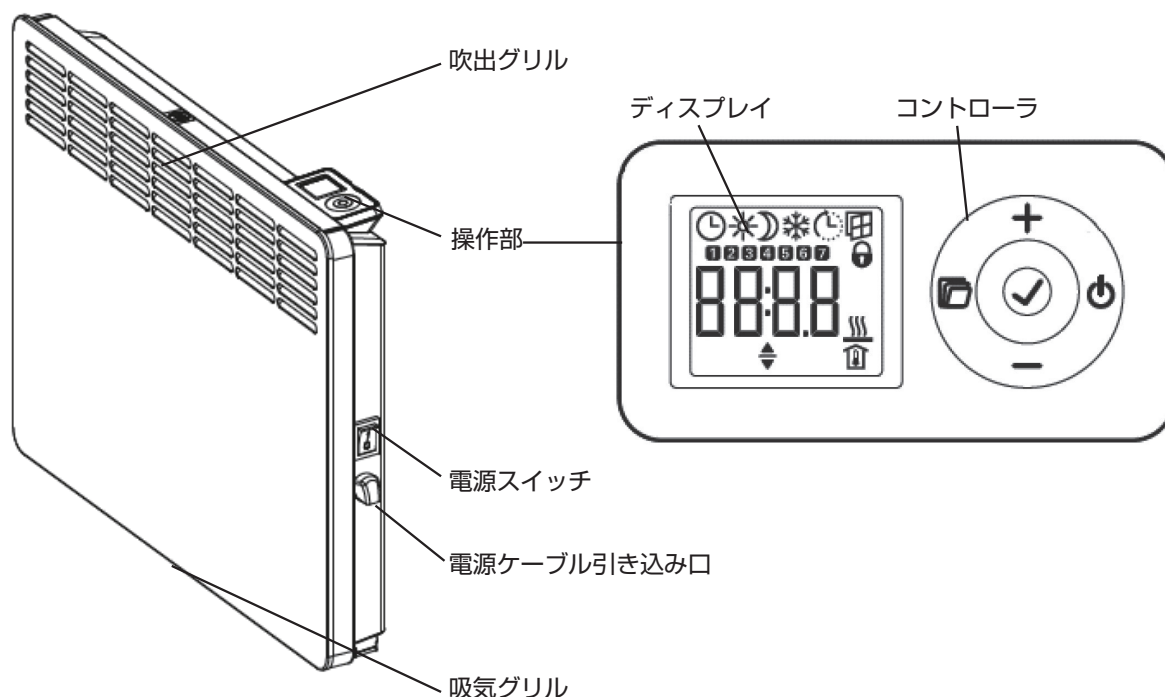
！ 指示

- ！ 機器のブレーカを「切」(OFF) から「入」(ON) にした場合は、現在時刻を設定してください。
- ！ ヒーターに通電した場合、煙や異臭がする場合がありますが、異常ではありません。この場合は、お部屋を十分に換気してください。
- ！ 機器を使用した場合、暖房の熱等で家具や、棚等の木質系素材が反る、割れる、変形する可能性があります。機器周辺には乾燥、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。
- ！ 機器を使用した場合、熱により周囲が変色する可能性があります。機器周辺には、熱に対する対策が施してあるものをご使用ください。
- ！ 機器の吹出グリルや、下部スリットが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。
- ！ 機器の吹出グリルや下部スリットを清掃する際は、機器が冷えていることを確認の上で行なってください。
- ！ 機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
- ！ 機器に異常が発生した場合は、専用ブレーカを「切」(OFF) にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
- ！ 本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。
- ！ 機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。
- ！ 機器の移設を行なう場合は、必ず専門業者に依頼して行なってください。

2. 各部のなまえと機器の特長

2-1. 各部のなまえ

2-1-1. 機器外観



2-1-2. ボタン／表示一覧

ボタン	概要	ボタン	概要
	電源をON／OFFします。		表示を前に進めます。 数値を大きくします。
	設定変更を可能にします。 変更を確定します。		前の表示に戻ります。 数値を小さくします。
	表示を切り替えます。		
表示	概要	表示	概要
	時刻表示 プログラム運転を使用した場合に点灯		設定変更が可能な場合に点灯
	通常モード		月曜日
	Ecoモード		火曜日
	凍結防止表示		水曜日
	事前運転表示		木曜日
	ウィンドサーチ機能を使用した場合に点灯		金曜日
	チャイルドロック中に点灯		土曜日
	ヒーター通電中に点灯		日曜日
	設定温度／室温を表示		

2-2. 機器の特長とコード表

2-2-1. 機器の特長

電気パネルヒーター CNS Trend(JP) シリーズ(本書中では、「機器」と表記)は、住宅や建物内の小さく仕切られた部屋等の暖房器として使用できます。任意の設定温度(5℃~30℃)を保つようにフィン付きシーズヒーターを ON / OFF させて暖房を行ないます。また、設定温度を低く設定することで、建物内の水廻りの凍結防止用としても使用できます。

火を使わないので、水蒸気が発生せず結露や灯油臭等がありません。自然対流でお部屋を暖めるためアレルギーの原因となるカビや、ダニの発生を抑え、家にも人にも優しい暖かさを提供します。

2-2-2. コード表

表 示	表示 / 設定内容
I 1	現在室温(℃/F)
I 2	積算暖房時間(H)
Pro1	全曜日共通設定温度プログラム
Pro2	月一金の設定温度プログラム
Pro3	曜日別の設定温度プログラム(最大14個)
P 1	現在室温のオフセット
P 2	時刻表示の変更
P 3	温度表示の変更
P 4	プログラム運転のリセット
P 5	積算蓄熱時間のリセット

3. 運転のしかた

3-1. ご使用方法

3-1-1. ブレーカの確認

①機器専用のブレーカが「入」(ON)になっていることを確認します。

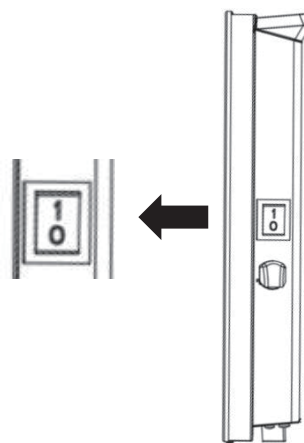
MEMO

●機器でヒーターが長時間通電され続けるような設定温度にした場合、電気代が高くなる可能性があります。



3-1-2. 電源スイッチ

①電源スイッチを「I」にします。



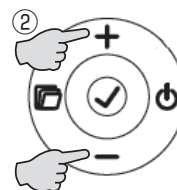
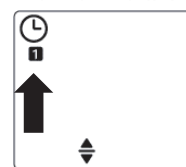
3-1-3. 暖房シーズン開始時の曜日と現在時刻の入力

暖房シーズン開始時にブレーカを「入」(ON)、電源スイッチを「I」にした際に行なう設定です。

①ディスプレイが<曜日設定画面>を表示しますので、コントローラの + ボタン、- ボタンを押して1-7を選択します。

1 : 月曜日 2 : 火曜日 3 : 水曜日 4 : 木曜日
5 : 金曜日 6 : 土曜日 7 : 日曜日

<曜日設定画面>



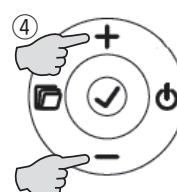
②コントローラの ✓ ボタンを押して曜日を確定します。

<現在時刻設定画面>



③②の後にディスプレイが<現在時刻設定画面>に切り替わるので、コントローラの + ボタン、または - ボタンを押して設定します。

<現在時刻設定画面>



④コントローラの ✓ ボタンを押して、現在時刻を確定するとすぐにディスプレイが<設定温度画面>に切り替わります。
ディスプレイが<設定温度画面>に切り替わらない場合は、 を押してください。

<設定温度画面>



MEMO

- 電源スイッチを「I」にした直後にディスプレイが<設定温度画面>になる場合は、以前に入力した曜日と現在時刻が機器にデータが残っている場合です。
- 長時間電源ブレーカを「切」(OFF)にする、または電源スイッチを「O」する等をしない限りは曜日、現在時刻、設定室温は初期化しません。

ご注意

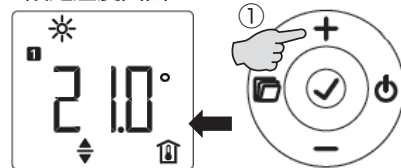
- プログラム運転を行なう場合は、必ず正しい曜日と現在時刻を入力してください。

3-2. 暖房器の操作

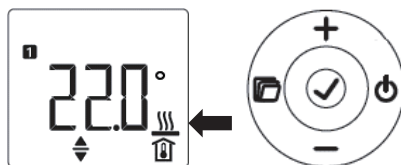
3-2-1. お部屋を暖める

- ①お部屋をもっと暖かくしたい場合は、ディスプレイが〈設定温度画面〉の状態
でコントローラの+ボタンを押して設定温度を高くします。
ディスプレイ上の  が点灯する状態にします。

＜設定温度画面＞



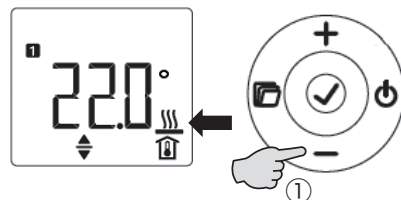
＜設定温度画面＞



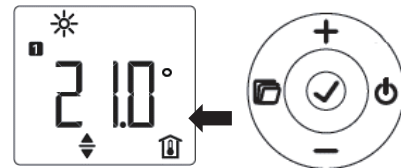
3-2-2. お部屋が暖かすぎる

- ①お部屋が暖かすぎる場合は、ディスプレイが〈設定温度画面〉の状態
でコントローラの-ボタンを押して設定温度を低くします。
ディスプレイ上の  が消灯する状態にします。

＜設定温度画面＞



＜設定温度画面＞



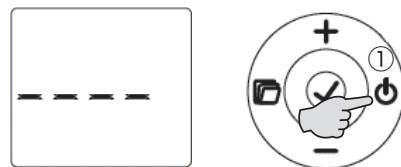
MEMO

- 設定温度と、通常モードの設定温度、またはEcoモードの設定温度、凍結防止温度が一致すると、それぞれディスプレイ上部に通常モードの設定温度と一致した場合は*、Ecoモードの設定温度と一致した場合は  、凍結防止温度と一致した場合は  を表示します

3-2-3. 暖房器を一旦停止する

- ①コントローラの  ボタンを押して、ディスプレイを〈待機表示〉にします。

＜待機表示＞



MEMO

- 電源スイッチを「O」にして、ディスプレイ表示を切り機器を停止させることができますが、その場合経過時間によっては、曜日と現在時刻のデータが消えます。短時間機器を停止させたい場合は、3-2-3項で停止状態表示にすることをお勧めいたします。

3-2-4. 現在時刻の確認と設定

機器の曜日と現在時刻を確認できます。

- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを押して<現在時刻表示>に切り替えて、機器の曜日と現在時刻を確認します。



12時間表示 (午前)



12時間表示 (午後)

<設定温度画面>



<現在時刻表示>



24時間表示

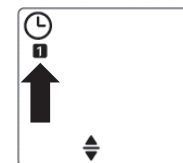
- ②<現在時刻表示>の状態コントローラの✓ボタンを押して、ディスプレイを<曜日設定画面>に表示を切り替えます。

<現在時刻表示>



- ③コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して曜日を変更します。

<曜日設定画面>



- ④コントローラの✓ボタンを押すと、曜日が確定になりディスプレイが<現在時刻設定画面>に表示を切り替わります。

<曜日設定画面>



- ⑤コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して現在時刻を変更します。

<現在時刻設定画面>



- ⑥コントローラの✓ボタンを押すと、現在時刻が確定になりディスプレイが<現在時刻表示>に表示を切り替わります。

<現在時刻表示>



- ⑦コントローラの  ボタンを押して<設定温度画面>に表示を切り替えます。

<設定温度画面>



3-2-5. プログラム運転時の通常モードの設定温度変更

プログラム運転の通常モードの設定温度を変更できます。

①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを押してディスプレイを<現在時刻表示>に切り替えます。

<設定温度画面>



<現在時刻表示>



②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してディスプレイを<通常モードの設定温度表示>に切り替えます。

<通常モードの設定温度表示>



③コントローラの  ボタンを押して、<通常モードの設定温度画面>に切り替えます。

<通常モードの設定温度画面>



④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して通常モードの設定温度を変更します。

例) 21℃ → 23℃へ変更

<通常モードの設定温度画面>



⑤コントローラの  ボタンを押すと、通常モードの設定温度が確定になり、<通常モードの設定温度表示>に切り替わります。

<通常モードの設定温度表示>



⑥コントローラの  ボタンを押して<設定温度画面>に表示を切り替えます。

<設定温度画面>



MEMO

- 設定温度と通常モードの設定が一致している場合のみ、設定温度画面で  が点灯します。
- 通常モードの設定温度は、Ecoモードの設定温度+0.5℃以下には設定できません。

3-2-6. プログラム運転時のE c oモードの設定温度変更

プログラム運転のE c oモードの設定温度を変更できます。

①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの ボタンを押してディスプレイを<現在時刻表示>に切り替えます。

<設定温度画面>



<現在時刻表示>



②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してディスプレイを<E c oモードの設定温度表示>に切り替えます。

<E c oモードの設定温度表示>



③コントローラの ボタンを押して、<E c oモードの設定温度画面>に切り替えます。

<E c oモードの設定温度画面>



④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してE c oモードの設定温度を変更します。

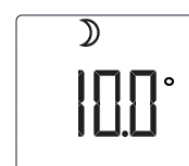
例) 18℃ → 10℃へ変更

<E c oモードの設定温度画面>



⑤コントローラの ボタンを押すと、E c oモードの設定温度が確定になり、<E c oモードの設定温度表示>に切り替わります。

<E c oモードの設定温度表示>



⑥コントローラの ボタンを押して<設定温度画面>に表示を切り替えます。

<設定温度画面>

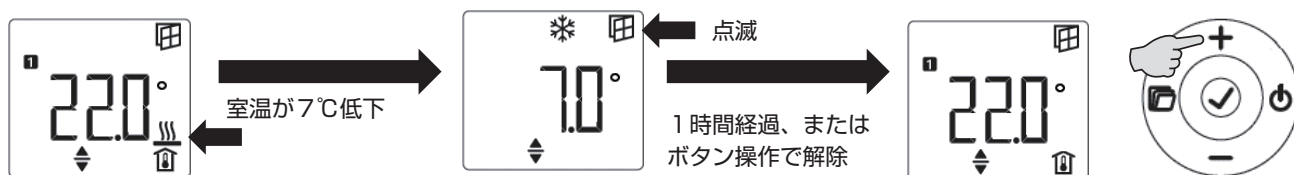


MEMO

- 設定温度とE c oモードの設定が一致している場合のみ、設定温度画面で が点灯します。
- E c oモードの設定温度は、通常モードの設定温度-0.5℃以上には設定できません。

3-2-7. ウィンドサーチ機能

空気の入れ替え等で急激に室温が約7℃以上低下した場合に放熱ロスを防ぐために暖房を一時的に停止します。



①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの ボタンを押してディスプレイを<現在時刻表示>に切り替えます。

<設定温度画面>

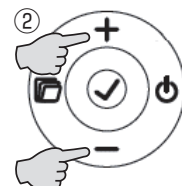


<現在時刻表示>



②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してディスプレイを<ウィンドサーチ設定表示>に切り替えます。

<ウィンドサーチ設定表示>



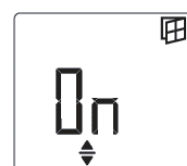
③コントローラの ボタンを押して、<ウィンドサーチ設定画面>に切り替えます。

<ウィンドサーチ設定画面>



④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してON/OFFを切り替えます。

<ウィンドサーチ設定画面>



⑤コントローラの ボタンを押すと、ウィンドサーチ設定が確定になり、<ウィンドサーチ設定表示>に切り替わります。

<ウィンドサーチ設定表示>



⑥コントローラの ボタンを押して<設定温度画面>に表示を切り替えます。

<設定温度画面>



3-2-8. プログラム運転の設定

設定温度を設定した時間に自動的に変更できるようにします。

- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態で、コントローラの  ボタンを押してディスプレイを<現在時刻表示>に切り替えます。

<設定温度画面>



<現在時刻表示>



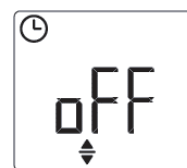
- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してディスプレイを<プログラム運転表示>に切り替えます。

<プログラム運転表示>



- ③コントローラの✓ ボタンを押して、ディスプレイを<プログラム運転設定画面>に切り替えます。

<プログラム運転設定画面>



- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してOFF/Pro1/Pro2/Pro3を切り替えます。

<プログラム運転設定画面>



- ⑤コントローラの ✓ ボタンを押すと、プログラム運転設定が確定になり、選択した<プログラム運転表示>に切り替わります。
例)OFF → Pro1へ変更

<プログラム運転表示>



- ⑥コントローラの  ボタンを押して<設定温度画面>に表示を切り替えます。

<設定温度画面>

点灯 →



3-2-9. 事前運転の設定

室温が設定した時間に設定温度に達するように暖房を開始します。

①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを押してディスプレイを<現在時刻表示>に切り替えます。

<設定温度画面>



<現在時刻表示>



②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してディスプレイを<事前運転表示>に切り替えます。

<事前運転表示>



③コントローラの  ボタンを押して、<事前運転設定画面>に切り替えます。

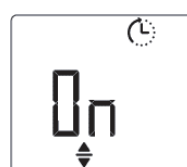
<事前運転設定画面>



④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してON/OFFを切り替えます。

例) OFF → ONへ変更

<事前運転設定画面>



⑤コントローラの  ボタンを押すと、事前運転設定が確定になり、<事前運転表示>に切り替わります。

<事前運転表示>



⑥コントローラの  ボタンを押して<設定温度画面>に表示を切り替えます。

<設定温度画面>



✓ ご注意

- 3-2-8 項プログラム運転と併用する必要があります。
- 暖房負荷に対して機器の能力が不足している場合は、設定温度に達しない場合があります。

3-2-10. チャイルドロックの設定

誤ってボタン操作をしても設定が変わらないように設定することができます。

①コントローラの + ボタンと、- ボタンを同時に5秒間押して、 を点灯させます。

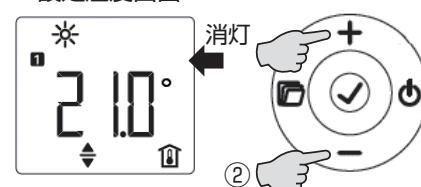
 が点灯中は、電源スイッチの操作以外の操作を受け付けなくなります。

②コントローラの + ボタンと - ボタン同時に5秒間押して、 を消灯します。

<設定温度画面&チャイルドロック>



<設定温度画面>



4. コードの確認と設定変更

4-1. コードの確認

4-1-1. コード一覧

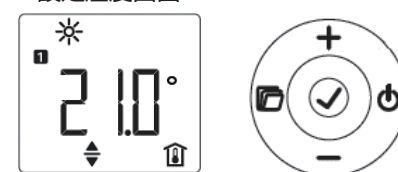
表 示	表示 / 設定内容	表 示	表示 / 設定内容
I 1	現在室温 (°C / °F)	P 1	現在室温のオフセット
I 2	積算通電時間 (H)	P 2	時刻表示の変更 (24H / 12H)
Pro1	全曜日共通設定温度プログラム	P 3	温度表示の変更 (°C / °F)
Pro2	月-金の設定温度プログラム	P 4	プログラム運転のリセット
Pro3	曜日別の設定温度プログラム (最大14個)	P 5	積算暖房時間のリセット

4-1-2. 現在室温の確認

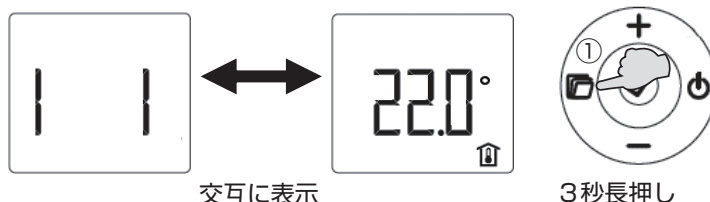
機器周辺の現在室温を確認できます。

①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。

<設定温度画面>

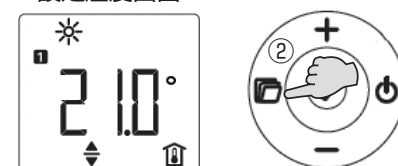


<現在室温表示>



②コントローラの ボタンを押すと<設定温度画面>に戻ります。

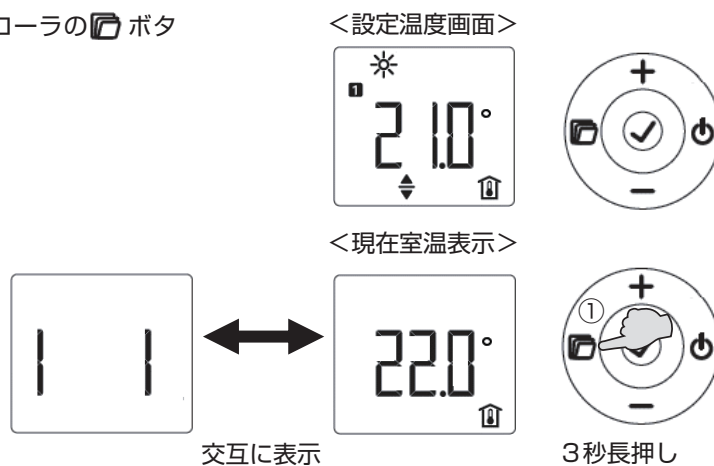
<設定温度画面>



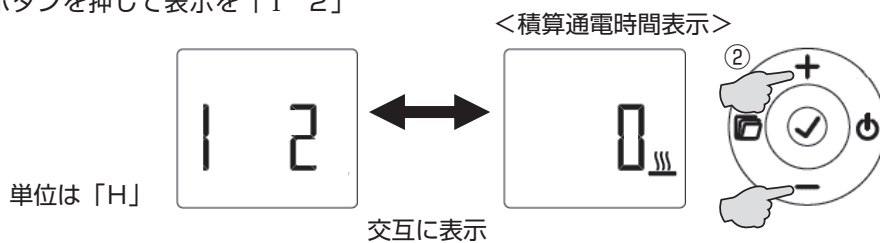
4-1-3. 積算暖房時間

機器が暖房のためにヒーターへ通電した時間の積算時間を確認できます。

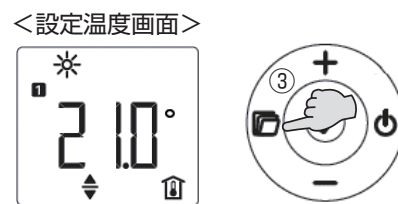
- ①ディスプレイが＜設定温度画面＞の状態、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。



- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「1 2」に切り替えます。



- ③コントローラの  ボタンを押すと＜設定温度画面＞に戻ります。



4-2. 設定変更

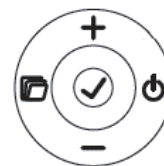
4-2-1. 全曜日共通設定温度プログラム

機器の設定温度を全曜日共通に自動変更することができます。

夜間と、昼間等、2パターンの設定温度が欲しい場合に利用できます。

- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。

<設定温度画面>



<現在室温表示>



3秒長押し

- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を<プログラム運転1>に切り替えます。

<プログラム運転1>



- ③コントローラの  ボタンを押して、<通常モードの開始時間画面>に表示を切り替えます。

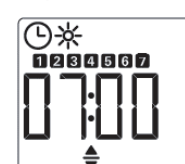
<通常モードの開始時間画面>



- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して通常モードの開始時間を入力します。

例) 08:00 → 07:00へ変更

<通常モードの開始時間画面>



- ⑤コントローラの  ボタンで<通常モードの開始時間>を確定すると同時に、<Ecoモードの開始時間画面>に表示が切り替わります。

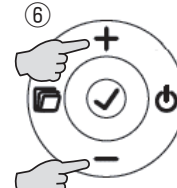
<Ecoモードの開始時間画面>



- ⑥コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してEcoモードの開始時間を入力します。

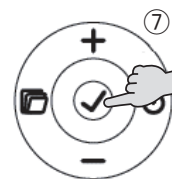
例) 22:00 → 23:00へ変更

<Ecoモードの開始時間画面>



⑦コントローラの✓ボタンで＜Ecoモードの開始時間＞を確定すると
同時＜プログラム運転1＞に表示が切り替わります。

＜プログラム運転1＞



⑧コントローラの  ボタンを押すと＜設定温度画面＞に戻ります。

＜設定温度画面＞



4-2-2. 月-金の共通設定温度プログラム

機器の設定温度を月-金曜日の間、共通に自動変更することができます。

月-金曜日の間で夜間と、昼間等、2パターンの設定温度が欲しい場合に利用できます。

- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。

<設定温度画面>



<現在室温表示>



交互に表示



3秒長押し

- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「P r o 2」に切り替えます。

<プログラム運転2>



- ③コントローラの ✓ ボタンを押して、<通常モードの開始時間画面>に表示を切り替えます。

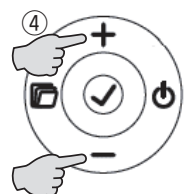
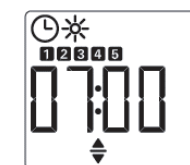
<通常モードの開始時間画面>



- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して通常モードの開始時間を入力します。

例) 08:00 → 07:00へ変更

<通常モードの開始時間画面>



- ⑤コントローラの ✓ ボタンで<通常モードの開始時間>を確定すると同時に、<E c oモードの開始時間画面>に表示が切り替わります。

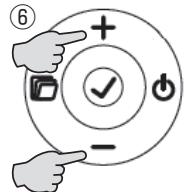
<E c oモードの開始時間画面>



- ⑥コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してE c oモードの開始時間を入力します。

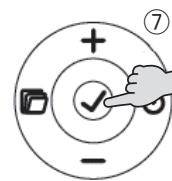
例) 22:00 → 23:00へ変更

<E c oモードの開始時間画面>



⑦コントローラの✓ボタンで＜Ecoモードの開始時間＞を確定すると
同時＜プログラム運転1＞に表示が切り替わります。

＜プログラム運転2＞



⑧コントローラの  ボタンを押すと＜設定温度画面＞に戻ります。

＜設定温度画面＞



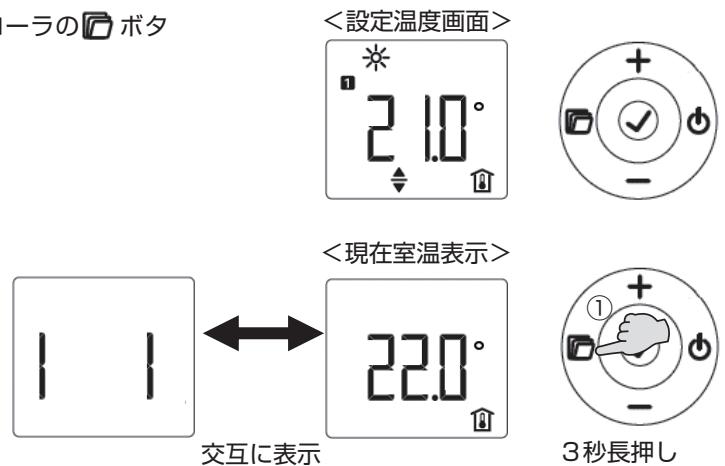
4-2-3. 曜日別の設定温度プログラム

曜日毎に機器の設定温度変更開始時間と、設定温度変更終了時間を設定することができます。変更された時間帯以外は、設定温度画面の設定温度で暖房します。

曜日毎に細かく設定温度を変更したい場合に利用します。

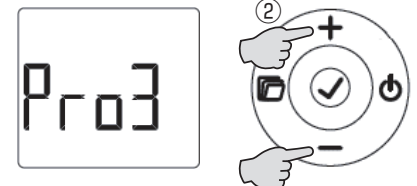
最大14パターンを登録できます。

- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。



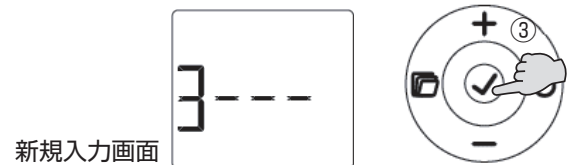
- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「Pro3」に切り替えます。

<プログラム運転3>



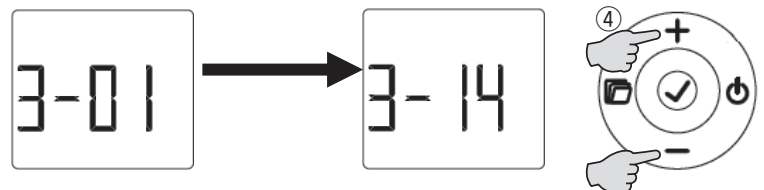
- ③コントローラの✓ボタンを押して、<プログラム選択画面>に表示を切り替えます。

<プログラム選択画面>



- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してプログラムを選択します。

<プログラム選択画面>



MEMO

- プログラムはその時点で登録されている数（最大14）だけ表示されます。
1個しか登録されていない場合は、「3-01」のみ選択可能

- ⑤コントローラの✓ボタンで選択した設定プログラムの変更できるようにします。

<曜日設定画面>

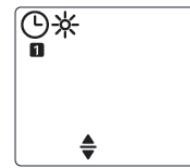


⑥引き続きコントローラの+ボタン、または-ボタンを押して曜日を設定します。

各曜日、または月一金曜日共通、土日共通、全曜日共通から選択できます。

1：月曜日 2：火曜日 3：水曜日 4：木曜日 5：金曜日
6：土曜日 7：日曜日

<曜日設定画面>



⑦コントローラの✓ボタンで選択した曜日を確定し、<通常モードの開始時間画面>に切り替わります。

<通常モードの開始時間画面>



⑧コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して通常モードの設定温度開始時間を入力します。

例) 12:00 → 08:00へ変更

<通常モードの開始時間画面>



⑨コントローラの✓ボタンで通常モードの設定温度開始時間を確定し、<Ecoモードの開始時間画面>に切り替わります。

<Ecoモードの開始時間画面>



⑩引き続きコントローラの+ボタン、または-ボタンを押してEcoモードの設定温度開始時間を入力します。

例) 12:01 → 23:00へ変更

<Ecoモードの開始時間画面>



⑪コントローラの✓ボタンでEcoモードの設定温度開始時間を確定します。

<プログラム運転3>



⑫コントローラの🏠ボタンを押すと<設定温度画面>に戻ります。

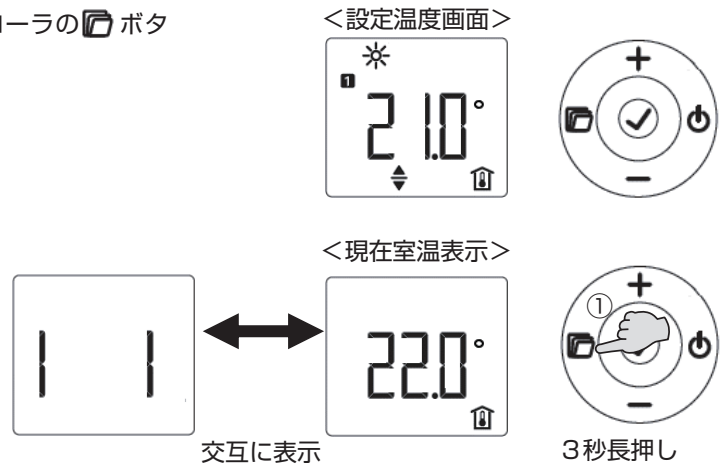
<設定温度画面>



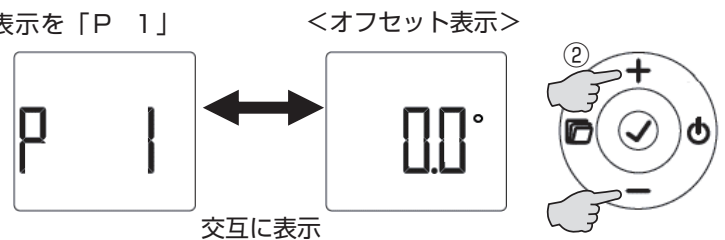
4-2-4. 現在室温のオフセット

機器の検知している室温を+3℃から-3℃の間で補正して、実際の室温に近づけることが可能です。

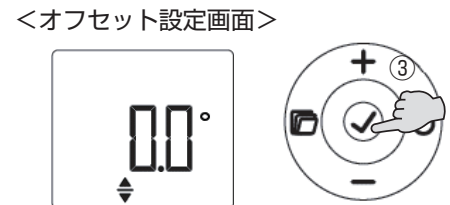
- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。



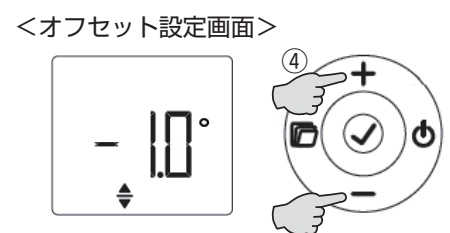
- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「P 1」に切り替えます。



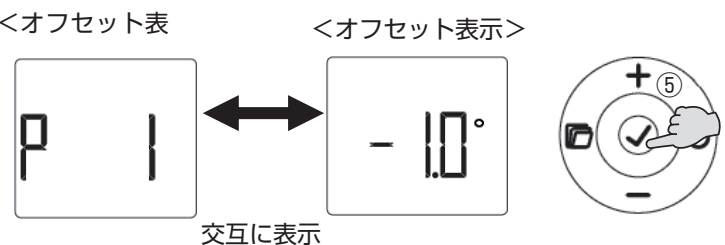
- ③コントローラの  ボタンを押して、<オフセット設定画面>に表示を切り替えます。



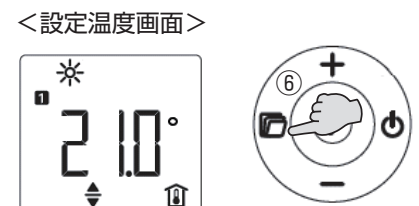
- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してオフセット値を-3℃～3℃の間で設定します。
例) 0. 0℃ → -1. 0℃へ変更



- ⑤コントローラの  ボタンを押して設定を確定すると<オフセット表示>に表示が切り替わります。



- ⑥コントローラの  ボタンを押すと設定温度画面に戻ります。



4-2-5. 時刻表示の変更

現在時刻の表示を、24時間表示と12時間表示を切り替えることができます。

- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態で、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。

<設定温度画面>



<現在室温表示>



交互に表示



3秒長押し

- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「P 2」に切り替えます。

<時刻表示>



交互に表示



- ③コントローラの ✓ ボタンを押して、<時刻表示画面>に表示を切り替えます。

<時刻表示画面>



24時間表示



- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して24時間表示、または12時間表示にするか選択します。

<時刻表示画面>



12時間表示



- ⑤コントローラの ✓ ボタンを押して選択を確定すると<時刻表示>に表示が切り替わります。

<時刻表示>



交互に表示



- ⑥コントローラの  ボタンを押すと設定温度画面に戻ります。

<設定温度画面>



4-2-6. 温度表示の変更

温度の表示を、摂氏表示と華氏表示を切り替えることができます。

- ①ディスプレイが＜設定温度画面＞の状態で、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。

＜設定温度画面＞



＜現在室温表示＞



交互に表示



3秒長押し

- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「P 3」に切り替えます。

＜温度表示＞



交互に表示



- ③コントローラの  ボタンを押して、＜温度表示画面＞に表示を切り替えます。

＜温度表示画面＞



摂氏表示



- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して摂氏表示、または華氏表示にするか選択します。

＜温度表示画面＞



華氏表示

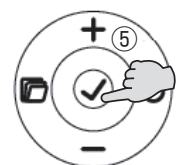


- ⑤コントローラの  ボタンを押して選択を確定すると＜温度表示＞に表示が切り替わります。

＜温度表示＞



交互に表示



- ⑥コントローラの  ボタンを押すと設定温度画面に戻ります。

＜設定温度画面＞



4-2-7. プログラム運転のリセット

ONにすることで、登録したプログラム運転を初期設定に戻します。＜プログラム運転3＞

は登録したプログラムが全て消去できます。

自動的にOFFに戻ります。

- ①ディスプレイが＜設定温度画面＞の状態で、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。

＜設定温度画面＞



＜現在室温表示＞



交互に表示



3秒長押し

- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「P 4」に切り替えます。

＜プログラム運転表示＞

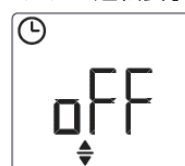


交互に表示



- ③コントローラの✓ボタンを押して、＜プログラム運転表示画面＞に表示を切り替えます。

＜プログラム運転表示画面＞



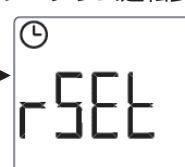
- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してリセット「OFF」、またはリセット「ON」を選択します。

＜プログラム運転表示画面＞



- ⑤コントローラの✓ボタンを押して選択を確定すると＜プログラム運転表示＞に表示が切り替わります。

＜プログラム運転表示＞



交互に表示



- ⑥コントローラの  ボタンを押すと設定温度画面に戻ります。

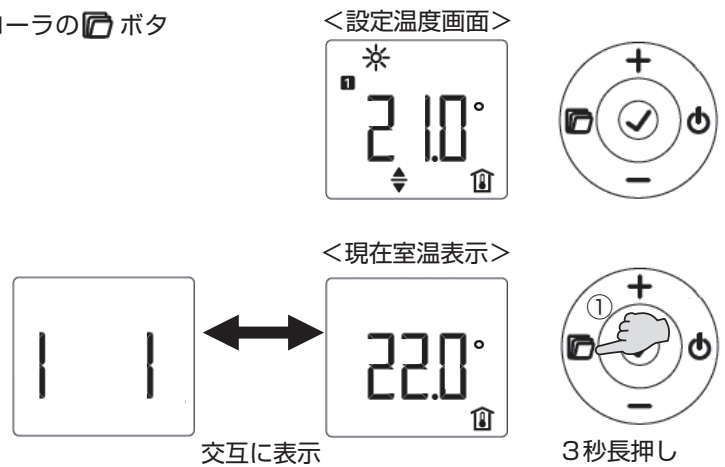
＜設定温度画面＞



4-2-8. 積算暖房時間のリセット

ONにすることで、積算暖房時間を「0」に戻します。
自動的にOFFに戻ります。

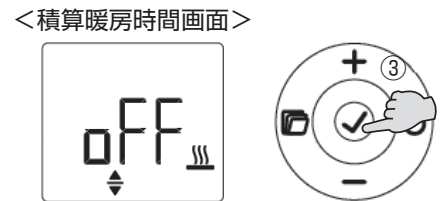
- ①ディスプレイが<設定温度画面>の状態、コントローラの  ボタンを3秒長押しするとコード確認モードに入ります。



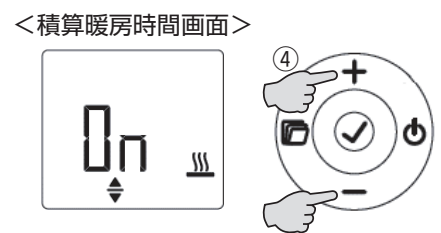
- ②コントローラの+ボタン、または-ボタンを押して表示を「P 5」に切り替えます。



- ③コントローラの  ボタンを押して、<積算暖房時間画面>に表示を切り替えます。



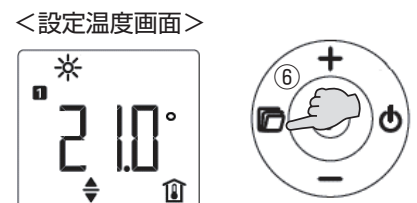
- ④コントローラの+ボタン、または-ボタンを押してリセット「OFF」、またはリセット「ON」を選択します。



- ⑤コントローラの  ボタンを押してて選択を確定すると<積算暖房時間表示>に表示が切り替わります。

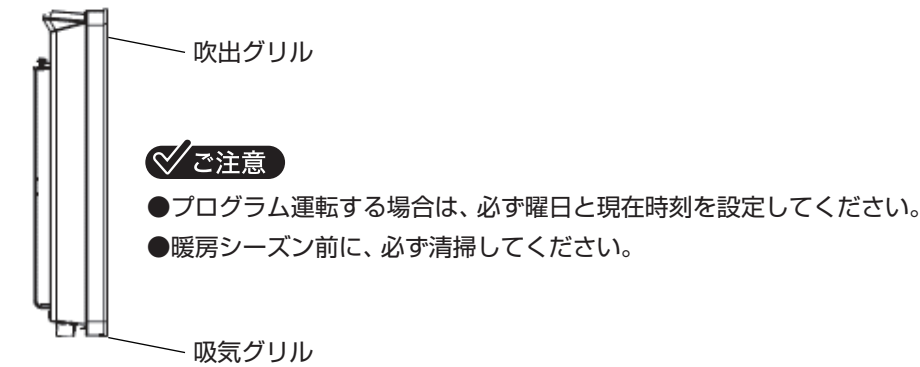


- ⑥コントローラの  ボタンを押すと設定温度画面に戻ります。



5. 日常の点検とお手入れ

①機器が停止していること、表面温度が常温であることを確認の上、吹出グリル、吸気グリルをスリットの上からゆっくりと掃除機で埃等を清掃します。



②電源スイッチを「O」にした場合は、その経過時間によってはP. 7「3-2-4. 現在時刻の確認と設定」に従い曜日と現在時刻を設定します。

6. 故障かな?と思ったら

下記の現象が見られる場合、はじめに専用ブレーカを「切」(OFF)にし、再度専用ブレーカを「入」(ON)にした後、確認項目について処置内容を実施してください。

現 象	確認項目	処置方法	参照ページ
機器が暖か ならない	ディスプレイ	消灯している場合は、機器のブレーカが「入」(ON)であること、電源スイッチが「I」であることを確認します。	P. 4 3-1-1項 P. 5 3-1-2項
	設定温度	設定温度が低い場合は、高くします。	P. 6 3-2-1項
	設置状況	機器の離隔距離が守られていることを確認します。	P. 1 1項
ブレーカが落ちる	ブレーカ	ブレーカを「切」(OFF)にした後に再度「入」(ON)にします。	P. 4 3-1-1項
	電源スイッチ	電源スイッチを「O」にして、ブレーカを「入」(ON)にしてブレーカが落ちないことを確認してから電源スイッチを「I」にします。	P. 5 3-1-2項
お部屋が暖ま らない	設定温度	設定温度が現在の室温より高い温度に設定してください。	P. 6 3-2-1項
	現在の室温	機器が表示する現在の室温が、室温と異なる場合は、現現在室温のオフセットを設定してください。	P. 21 4-2-4項
お部屋が暑すぎる	設定温度	設定温度を現在室温より低く設定してください。	P. 6 3-2-2項

上記の処置後も現象が改善しない場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。(P. 26「7項」参照)

次の場合は故障ではありません。

現 象	原 因	参照ページ
臭いがする	暖房開始直後は多少の臭いがする場合がありますので、その際は、窓を開放する等をしてください。	_____
暖房しているのに部屋が暖まらない	機器が暖かいのに室温が上がらない場合は、暖房能力が不足している可能性があります。	_____
異音がする	暖房開始直後や、冷風が当たっている場合に熱影響で異音になる場合があります。	_____

7. 点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書のP.26「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで下記のQRコードから日本スティーベル(株)のHPのお問合せフォーム、または下記からお問い合わせください。



TEL: 03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ①機 種 名 : 保証書、または銘板ラベルに併記
- ②製 造 番 号 : 保証書、または銘板ラベルに併記
- ③不具合の具体的内容: 動作しない等の症状、及びご使用条件
- ④お取付け年月日
- ⑤お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

- お客様で自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

8. 仕様

型 名		CNS 38Trend (JP)	CNS 50Trend (JP)	CNS 75Trend (JP)	CNS 115Trend (JP)	CNS 150Trend (JP)	CNS 200Trend (JP)	CNS 235Trend (JP)
電 圧		単相 200V						
周波数		50 / 60Hz						
消費電力 (W)		380	570	760	1140	1500	1950	2350
定格電流 (A)		1.90	2.85	3.80	5.70	7.50	9.75	11.75
外形寸法	幅 (mm)	348	426	426	582	738	894	1050
	高さ (mm)	450						
	奥行 (mm)	100						
総質量 (kg)		4.0	4.6	4.6	6.0	7.7	9.2	10.9
絶縁クラス		I						
保護等級		IP24						
主要部品		フィン付シーズヒーター						
		過昇温バイメタル						
		電源スイッチ						
		室温センサー						

STIEBEL ELTRON

電気パネルヒーター 取付説明書

品 名…… CNS Trend (JP) シリーズ

型 名…… ●CNS 38Trend (JP)

●CNS 50Trend (JP)

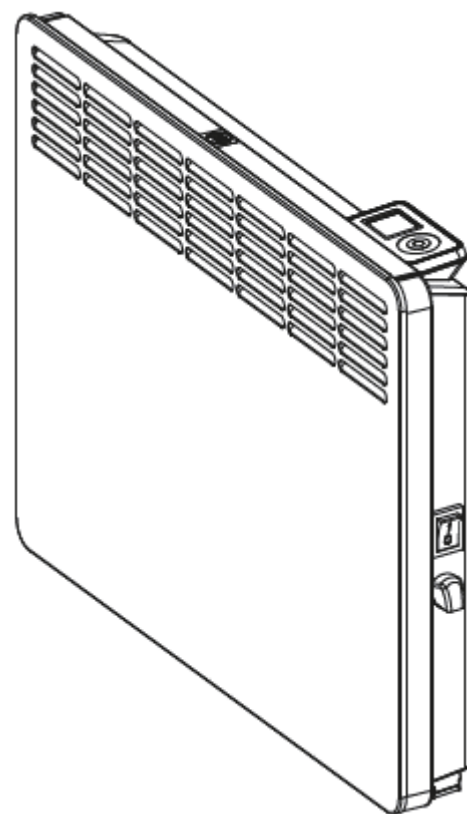
●CNS 75Trend (JP)

●CNS 115Trend (JP)

●CNS 150Trend (JP)

●CNS 200Trend (JP)

●CNS 235Trend (JP)



取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP. 30「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	-------------------------------------	---	--------------------------------------

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。



警告



禁止



絶対に改造はしないでください。



付属の電源ケーブルを外さないでください



取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。



200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器の試運転中、試運転直後は、機器表面や吹出グリルが熱くなっていますので触らないでください。



機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



他の暖房機器と隣接させないでください。



注意



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。
また、機器の背面等に隠さないでください。



電源ケーブルを機器内部、またはジョイントボックス内で弛ませないでください。

！ 指示



アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。



専用ブレーカを必ず設置してください。



電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。



屋内配線は、電源仕様、定格電流、及び消費電力を左面パネル下部の銘板ラベルで確認して、必ず内線規程に従って配線を行なってください。



ジョイントボックスは、機器の右面から50mm以上離して設置してください。



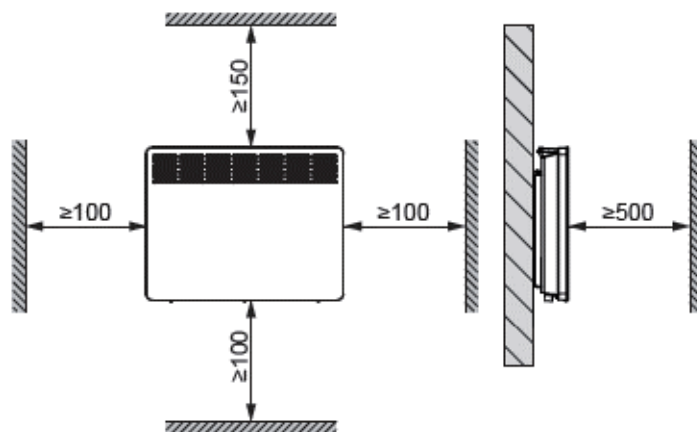
機器は、適切な壁補強がされた、壁面に固定してください。



機器を正常に動作させるために離隔距離を守ってご使用ください。
(離隔距離は、壁紙や棚、カーテン等の品質を保証する距離ではありません。)

	前面パネル	天面パネル	左面パネル	右面パネル	下面パネル
離隔距離	500mm以上	150mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上

※カーテン等、全ての繊維類は、機器から150mm以上離してください。



設置地域の火災予防条例に即した離隔距離をとってください。

⚠ 注意



禁止



設置前の機器は、雨水が当たる場所や、雪上、氷上に置かないでください。



機器の天板パネルの上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。



機器内部の電気部品、または交換用の電気部品は、指定された機器以外には使用しないでください。

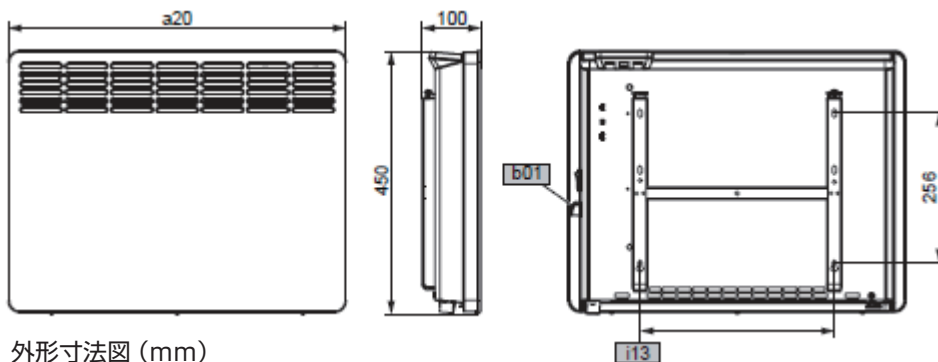


機器は、脚立や踏み台等が必要となるような高所には設置しないでください。

！ 指示

- ！ 機器は、床に対して垂直な壁に、機器の前後左右が水平になるように設置してください。
- ！ 仕上げ材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等にはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。
- ！ 棚下等に設置した場合は、棚板等の含水量や空気の乾燥度によって反る場合があります。正しい離隔が保たれていても、板等の反りや割れについて保証しておりません。
- ！ 壁紙、床材等は、熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用してください。
- ！ 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。
- ！ 検査記録表（P. 35「6項」）に試運転時の検査記録を必ず記入してください。
- ！ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取り扱い店、お付け日、製造番号等の必須事項を記入し、お取り扱い店、及び取扱責任者印を捺印してください。
- ！ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ！ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようお願いしてください。

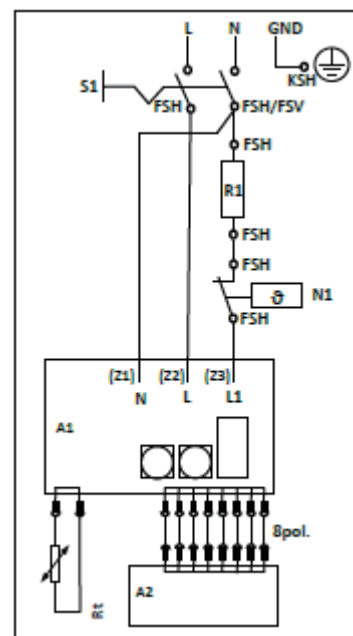
2. 各部のなまえと外形寸法



外形寸法図 (mm)

単位 : mm

型 名	a 20	i 13
CNS 38Trend (JP)	348	101
CNS 50Trend (JP)	426	179
CNS 75Trend (JP)	426	179
CNS 115Trend (JP)	582	335
CNS 150Trend (JP)	738	491
CNS 200Trend (JP)	894	647
CNS 235Trend (JP)	1050	803



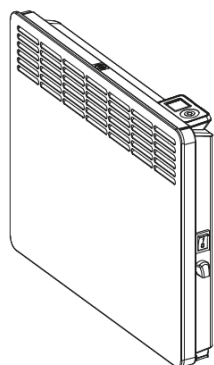
結線図

A 1 : 電子基板 A 2 : 表示部基板 N 1 : 過昇温バイメタル R 1 : ヒーターエレメント
R t : 室温センサー S 1 : 電源スイッチ

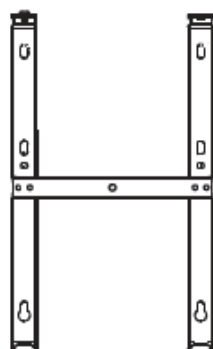
3. 部品の確認

●次の部品があることを確かめてください。

部品名	同梱場所	図番
機器（電源ケーブル付き）	梱包箱内	図－１
壁固定金具	機器背面	図－２
取扱取付説明書（保証書付）	梱包箱内	図－３



図－１



図－２



図－３

4. 機器設置前の準備

4-1. 設置場所の確認

- ①機器設置位置下の床面に畳や、じゅうたん、クッションフロア等が敷かれていないことを確認します。
- ②機器設置位置の補強壁、または補強材が、合板等で柱や間柱に固定してあることを確認します。
- ③機器設置位置の右端から50mm以上離れた位置のジョイントボックス内で、屋内配線と電源ケーブルを接続できることを確認します。
- ④屋内配線が、内線規程に適合した配線であることを確認します。
- ⑤機器の離隔距離が守れることを確認します。
- ⑥壁紙、床材等は熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものが使用されていることを確認します。

4-2. 電源配線の確認

- ①機器設置位置の右端から50mm以上離れた位置にプレート付きジョイントボックス（深型）を設けてください。
- ②電源200V単相の1次側配線を予め準備してください。

型 名	総消費電力 (W)	漏電ブレーカ定格電流 (A)	分岐回線の最小太さ	
			V V (mm)	C V (mm ²)
CNS 38Trend (JP)	380	15	1.6 (20m)	2.0 (20m)
CNS 50Trend (JP)	570			
CNS 75Trend (JP)	760			
CNS 115Trend (JP)	1140			
CNS 150Trend (JP)	1500			
CNS 200Trend (JP)	1950			
CNS 235Trend (JP)	2350			

() 内の数値は単相200Vの場合における電圧降下2%のときの電線こう長です。この数値以上の長さが必要な場合は、1段階太い電線をご使用ください。

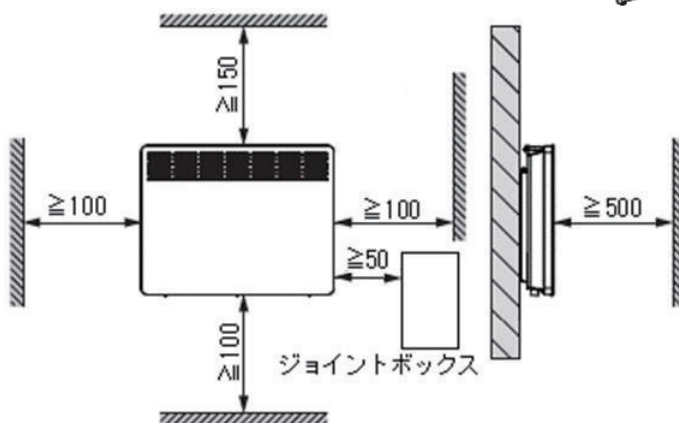
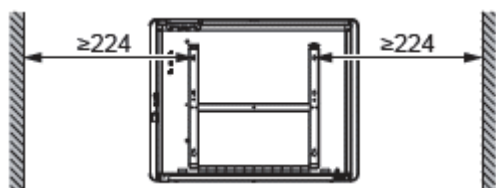
5. 機器の設置

5-1. 設置場所の確認

①壁固定金具上部を押しながら、壁固定金具上部を機器背面上部から外します。

②引き続き、壁固定金具下部を機器背面下部から外します。

③設置予定位置に下図の離隔が確保できることを確認します。



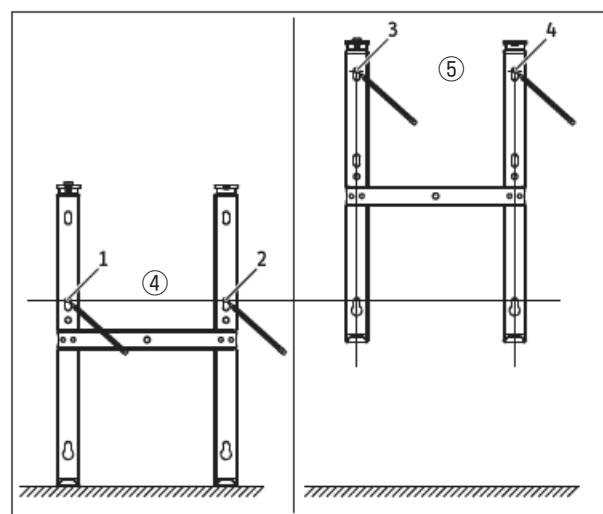
✓ご注意

●ジョイントボックスは、必ず機器の右側に設けてください。

④壁固定金具下端を床に付けて、壁固定金具の「1」「2」の位置にマーキングをします。

⑤「1」「2」のマーキングの位置に壁固定金具の下側のネジ穴を合わせて、「3」「4」の位置にマーキングします。

⑥壁固定金具の上下のネジ穴をマーキングの位置に合わせて、壁固定金具を現地調達した壁に適したネジで壁に固定します。

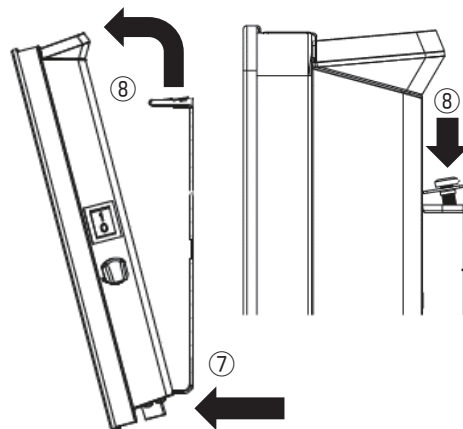


✎MEMO

●右図の通り設置すると床面との離隔が135mmになります。

⑦壁固定金具下部の突起を機器の所定の位置に差し込みます。

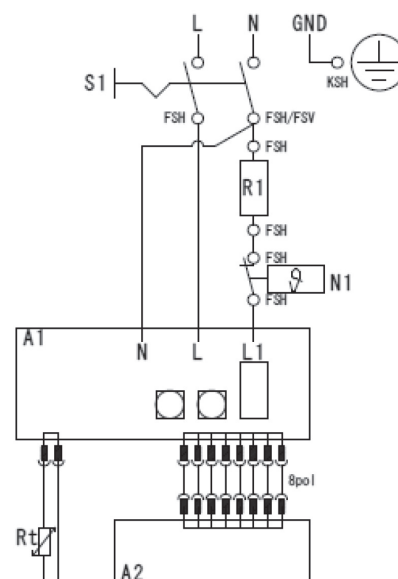
⑧壁固定金具上部を押しながら、壁固定金具上部を機器背面上部に取り付けます。



5-2. 配線の接続

- ①機器の電源ケーブルをジョイントボックス内で接続できる最小長さに切断します。
- ②下表に従って機器の配線を屋内配線に接続します。

図番	配線色	屋内配線
L	黒色	L相 電源配線
N	白色	N相 電源配線
GND	緑色	アースと接続



✓ご注意

- 屋内のアース線を機器の電源ケーブルに接続しないようにしてください。
- 過電圧カテゴリⅢで完全遮断をする全極の接点分離を配線規則に従って固定配線に設けてください。

6. 試運転の手順

(1) 試運転

お客様への引き渡し前に必ず試運転を行なってください。

試運転後は、必ず検査記録、保証書に必要事項を記入してください。

- ①機器のブレーカが「切」(OFF)であることを確認の上、電源端子とアース間の絶縁抵抗を確認します。
- ②機器の固定作業が終わっていることを確認の上、機器のブレーカを「入」(ON)にします。
- ③P. 5「3-1-2」項に従い電源スイッチを「I」にします。
- ④✓を押して、曜日、現在時刻を表示されている値で確定します。
- ⑤コントローラの+ボタンを押して、設定温度画面の設定温度を高くして、 を点灯させます。
- ⑥ が点灯した状態で機器の電流値を確認します。
- ⑦設定温度を元に戻し、電源スイッチを「O」にして、ブレーカを「切」(OFF)にします。

(2) 電流値と抵抗値表

ヒーター容量	電圧 (V)	総消費電力 (W)	単相電流値 (A)
CNS 38Trend (JP)	200	380	1.90
CNS 50Trend (JP)		570	2.85
CNS 75Trend (JP)		760	3.80
CNS 115Trend (JP)		1140	5.70
CNS 150Trend (JP)		1500	7.50
CNS 200Trend (JP)		1950	9.75
CNS 235Trend (JP)		2350	11.75

🔧おねがい

- 電流値が許容範囲に当てはまらない場合は、ヒーターの片側の端子を外し、ヒーターの抵抗値を確認します。抵抗値が±10%の許容範囲に当てはまらない場合は、ヒーターが断線、あるいは短絡の可能性がありますので、日本スティーベル(株)までお問い合わせください。

（３）絶縁抵抗

電気用品安全法に基づく技術基準により、機器の絶縁抵抗は 1 MΩ以上とされております。

使用開始時や長期間放置された後に再使用する場合、絶縁抵抗が減少し、運転開始後数時間で漏電ブレーカが誤作動する場合があります。この様な場合は結線に誤りがなく、かつ絶縁抵抗が回復していることを確認の上、再度、通電を行なってください。漏電ブレーカが即時に作動する場合は、配線、または漏電ブレーカ等に問題がある可能性があります。日本スティーベル（株）までお問い合わせください。

（４）検査記録

お客様名			
検査会社名			
検査者名			
検査日			
検査項目	検査結果	摘要 参照ページ	参照ページ
機器の絶縁抵抗		絶縁抵抗値を記載	P. 36 6項（3）
ブレーカの定格電流値		ブレーカの定格／電流値を記載	P. 33 4－2項
ヒーターの電流値		電流値を記載	P. 35 6項（2）
機器の離隔距離の確保		チェックのみ	P. 30 1項
ジョイントボックスの位置		チェックのみ	P. 34 5－1項
壁の補強		チェックのみ	P. 28 8項
機器の壁固定		チェックのみ	P. 34 5－1項
機器の水平設置		チェックのみ	P. 34 5－1項
機器の外観		チェックのみ	—
備考			

（５）コード表

表 示	表示内容	初期値	設定範囲
I 1	現在室温（℃／F）	—	—
I 2	積算通電時間（H）	0	—
Pro 1	全曜日共通設定温度プログラム	あり	—
Pro 2	月一金の設定温度プログラム	あり	—
Pro 3	曜日別の設定温度プログラム	なし	最大 14 個登録可能
P 1	現在室温のオフセット	0℃	－3℃～3℃
P 2	時刻表示の変更	24H	12H／24H
P 3	温度表示の変更	℃	℃／F
P 4	プログラム運転のリセット	OFF	ON／OFF
P 5	積算暖房時間のリセット	OFF	ON／OFF

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		型 名	CNS 38Trend (JP)	
	お名前			CNS 50Trend (JP)	
お取扱い店	社名	取扱者	製造番号	CNS 75Trend (JP)	
	〒 住所			CNS 115Trend (JP)	
	電話 ()	印		CNS 150Trend (JP)	
お取り付け日	年 月 日		保証期間	製品	お取り付け日から1年

機器はお取り付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈無料修理規定〉

- お引渡し仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル（株）にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
(A) 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
(B) 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
(C) お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
(D) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
(E) 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
(F) 一般の建物以外（例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
(G) 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
(H) 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
(I) 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
(A) 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
(B) 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等



STIEBEL ELTRON

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明
書、仕様図のダウンロード



日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階
TEL:03-5715-4655
(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください